

○日本スポーツ協会公認指導者数の推移

	R3	R7	比較
スタートコーチ	55	109	+54
コーチ等	1,371	1,469	+98
合計	1,426	1,578	+152

出典：日本スポーツ協会HP

- ▶ スタートコーチは、スポーツ少年団として公式登録するため、「2名以上の資格保持者」が必須条件となったことなどにより増加している。
- ▶ コーチ等は、各競技連盟が公式大会への出場要件として「資格保持者の帯同」を義務化したことなどにより増加している。

○レクリエーションインストラクター等数の推移

	R3	R6	比較
インストラクター	164	51	-113
準中級～上級インストラクター	333	266	-67
スポレク指導者(※)	16	12	-4

出典：日本レクリエーション協会HP

- ▶ 公認指導者数は3年間で大幅に減少しており、インストラクターが113人、準中級インストラクター以上では67人減少している。

(※) スポレク指導者は、体を動かす楽しさを実感させ、継続して活動できるよう支援することができる指導者

出典：日本レクリエーション協会HP

○スポーツ推進委員の状況

	R3	R8	比較	平均年齢	平均年齢が60歳以上の市町村数
男性	323	300	-23	52.3	7
女性	110	118	+8		
合計	433	418	-15		

出典：R8 高知県スポーツ推進委員連絡協議会 調べ

- ▶ 女性のスポーツ推進委員は増加しているが、全体では減少している。
- ▶ スポーツ推進委員の平均年齢が60歳以上の市町村は7市町村となっており、スポーツ推進委員の高齢化のほか、後継者が見つからず固定化していることも課題となっている。

○大学生の状況（子どもへの指導について）

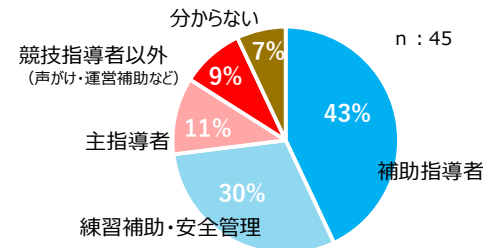
n : 219

	小学生への指導		中学生への指導	
全く興味がない	14.6	30.1	18.3	38.4
あまり興味がない	15.5		20.1	
少し興味がある	32.4	69.8	28.8	61.7
非常に興味がある	37.4		32.9	

出典：R7 高知県スポーツ課 調べ

- ▶ 子どもへの指導については、小学生への指導では約7割、中学生への指導では約6割となっており、子どもへの指導に関心のある大学生が多い。
- ▶ 調査した219名中、現在部活動・サークルに所属していない学生88名では、小学生の指導に興味のある学生52名（約6割）、中学生への指導では39名（約4割）となっており、現在スポーツ活動を行っていない学生でも子どもへの指導に関心のある学生が一定数いる。

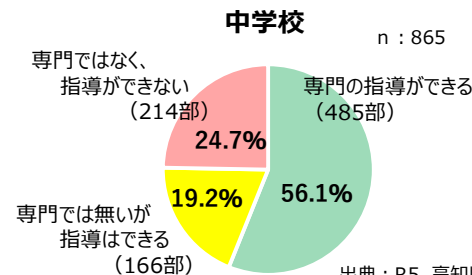
指導参加に関わりやすい立場（複数選択）



- ▶ 主指導者として関わりたい大学生は少ない。
- ▶ 大学生を地域展開後の部活動の指導者に位置づける場合には、主指導者を前提としない多層的な役割設計が重要である。

出典：R7 中学校部活動の地域移行に伴う高知大学運動部学生の意識調査

○運動部活動顧問の状況



- ▶ 専門的な指導が難しい顧問（教員）が担当している部活動が全体の約24%となっている。

出典：R5 高知県教育委員会保健体育課 調べ